IGT　ハイスピードインキングユニット　４

超高速インキ練り機



＊試験の信頼性を高めるためにも、IGT 試験機との併用を強く推奨します！

IGT ハイスピードインキングユニット４は、迅速にかつインク層の厚みを正確にプリンティングディスクにインキング（インキ練り・転写）できるように開発されました。これらインキングされたディスクは、AIC２－５やグローバルスタンダードテスターの全ての機種に使用いただけます。最近のインクは速乾性のものが多く、弊社の従来製品の AE タイプではこのような速乾性のインキに対応するのが難しくなってきております。しかし、このハイスピードインキングユニット４を使用いただければ、このような速乾性のインキに対応できるばかりでなく、インキングに費やす時間も極端に短縮することが可能です。

主なアプリケーション

ハイスピードインキングユニット４は、以下の目的に使用できます。

- IGT 印刷適性試験機 AIC2-5 用インキング
- IGT グローバルスタンダードテスター用インキング
- 通常のオフセット用インクのインキング
- UV　ドライオフセット用インクのインキング
- ピックテスト用オイルのインキング
- 温度調整が必要なインキング
- 非常に短時間に行われなければならないインキング
- 同時に４色を必要とする場合のインキング

操作の手順

ハイスピードインキングユニット４（HSIU4）は、ゴム製トップローラー１つと２つのスチール製インキ練りローラーで構成されています。これらは、別置の温度コントロールユニットにて温度調節が可能です。トップローラーでは、最大 4 つのプリンティングディスクへの着肉ができます。インキングスピードは、０．２ － １．２ｍ / 秒の間で調整可能です。

ハイスピードインキングユニットは、以下の業界で使用されています：

- 印刷用インキ業、製紙関連、印刷関連
- 塗装、コーティング関連
- 金属業、プラスチック業、包装,製缶
- 各種素材原材料メーカー
- 化粧品、電子
- 研究開発機関、教育機関

主な特性



IGT High Speed Inking Unit 4 with cover

（簡単な操作で安定した作業が望めます）HSIU4 は、同時に４つのプリンティングディスクへインキングできる超高速型インキングユニットです。このインキングユニットの機構設計では、インキング時間を最大 15 秒まで縮めることが可能になっています。この機器は、コンピュータで制御しますのでセッティングや操作指示など大きなディスプレーですることもできます。オペレーティング温度は、１５－４５℃の範囲で選択できます。この温度調整は、高転写スピードの場合はとりわけ大切です。それは高スピードが熱の発生がインキの粘着性や粘度への影響し、テスト結果へも影響してしまうからです。

温度は、サーモスタットバスによってコントロールされます。このサーモスタットウォーターバスは、ラボ用機器・資材会社さんからは簡単に入手できます（弊社でも現在はご提供しております）。

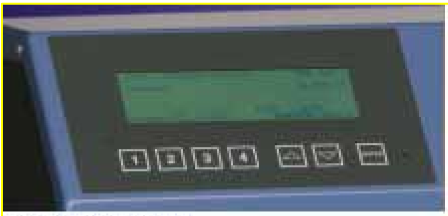
- インキ練りスピードが０．２－１．２m/秒間で調整可能
- プリンティングディスクへの着肉時間が、５－２００秒で調整可能
- コンピュータ制御
- トップローラーは、１，２，４セクションにて利用可能
- それぞれのプリンティングディスクによって、別々に着肉時間の調整が可能
- 非常に正確な着肉時間を設定できる
- プリンティングディスクは、着肉終了後に自動的に上昇する
- 簡単な操作で正確な作業が可能
- 丈夫で頑丈な設計
- 温度コントロールシステムは、ハイスピードによる温度や環境温度の影響を受けません。
- インキピペットが付属されています。
- AIC2-5 やグローバルスタンダードテスター使用するプリンティングディスクに適合しています。

インキは、この機器によって３つの方法で試験できます。トップローラーは、インキが最も効果的に用いられることを確実にするために、３段階にセット出来ます。
機器がローラーへ均等にインキを練った後、プリンティングディスクを下降させ練りローラーに接触させ、プリセットさせた時間インキング（着肉）をします。この機器の大きな特徴は、セットされたインキング時間が終了すると、プリンティングディスクが自動的に上昇し作業を終えることです。また、このプリンティングディスクは、マニュアル操作によって手動で上昇させることもできます。この機器は、３つのインキング方法を選択して実行できるようプリセットができます。

１．　インキ練り時間とスピードを設定する。プリセットした時間が経過したらすぐにプリンティングディスクへの着肉を開始する。
２．　インキ練り時間とスピードを設定する。そしてそれと同時に選択したスピードに到達する時間（到達時間）を設定するインキ着肉時間とスピードを設定する。プリセットした時間が経過したらすぐにプリンティングディスクへの着肉を開始する。
３．　インキ練り時間とスピードを設定する。そして同時に２回目のインキ着肉時間とスピードを設定する。プリセットした時間が経過したらすぐにプリンティングディスクへの着肉を開始する

温度管理

温度は、恒温水槽によってコントロールされます。２つの練りローラーは、セットされた温度を保ち、トップローラーも練りローラーと同じ温度を取り入れます。



The display of the inking unit

正確な温度管理は、ピックテストや異なる温度下でのインキの特性を調査する場合には重要なってきます。

（例、ドライオフセット印刷用インクなど）

温度コントロール機能の正確さは、研究作業の標準化においても必須とされます。ローラー温度は、リアルタイムでディスプレーにて見ることができます。



IGT AIC2-5

カバー

ハイスピードインキングユニット４には､インキ練り時のミスト化や外部からの影響を避けるためにローラー部分に被せる透明なカバーが用意されています。このカバーは、ローラーにインキを乗せる際やプリンティングディスクの着脱、機器の清掃時には簡単に開けることができます。



IGT Global Standard Tester 2

清掃

ソフトウェアプログラムには、清掃用に別個のモジュールが組み込まれています。トップローラーが「クリーニング作業」の機能にて自動的に上昇するといったように、モジュールは清掃を迅速に安全に行うよう設定されています。

IGTインキピペット

インキングユニットにオフセットインキを使用する場合は、IGT インキピペットの使用を強く推奨致します。それは、インキングがより正確になりますので、テスト作業の質を一段と高めることが可能になります。



The IGT ink pipette

テクニカルデータ

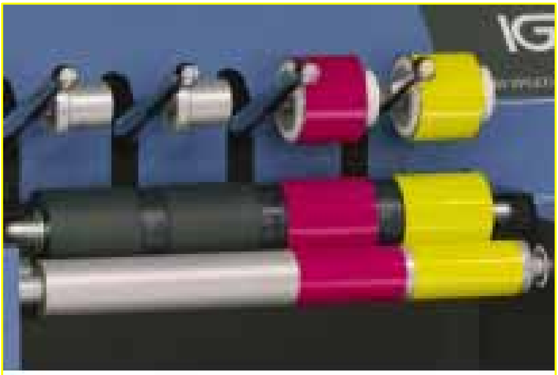
- トップローラーは、１，２，４セクションにて利用可能
- インキング表面積

4 x 328 cm2　　(4 segments)
2 x 729 cm2　　(2 segments)
1 x 1537 cm2　 (1 segment)

- インキングスピード：　　0.2 – 1.2 m/s
- インク転移時間：　　5 - 200 s
- インキング時間：　　5 - 200 s
- 温度幅：　　15 – 45° C
- プリンティングディスク最大幅：　　50 mm

その他の規格

- EC 規格に基づいた設計
- 斬新で実用的なデザイン
- コンピュータコントロールによる工程作業
- 簡単な操作で、常に安定した刷り上り
- 低い初期コスト
- アルミ缶印刷が可能
- 本体の移動が容易
- 詳細でわかり易い取扱説明書の添付



Printing discs are lifted automatically

重量：　55 kg
高さ：　300 mm
幅：　　860 mm
奥行き：380 mm
電源：　115/230V　/　50-60 Hz

IGT Japan 072002